

FS-A2500シリーズ構成機器

FS-2500シリーズと組み合わせ可能

非常用操作パネル

FS-A2500EP [3U]

非常放送、緊急地震放送、緊急放送、業務放送ができます。FS-2510EP/2520EPと組み合わせで使用します。



※この商品は単体での販売はできません。

非常系統拡張パネル

FS-A2500EX [3U]

FS-A2500EPに最大13台まで接続可能。1台あたり160回線まで拡張可能(最大640回線)。



FS-A2500EP/A2500EX以外の機種は、FS-2500シリーズ(一部機種を除く)を流用可能です。※FS-2500シリーズからの更新は、管轄の消防署の許可が必要になります。

非常断24V出力拡張パネル

FS-A2500EM [1U]

FS-A2500のシステムに最大10台まで接続可(FS-A2500EPと合わせて最大102系統)

非常断24V出力系統数：1台当たり10系統の制御が可能。

機器ごとに非常断24V出力をリレー接点にも変更可能。

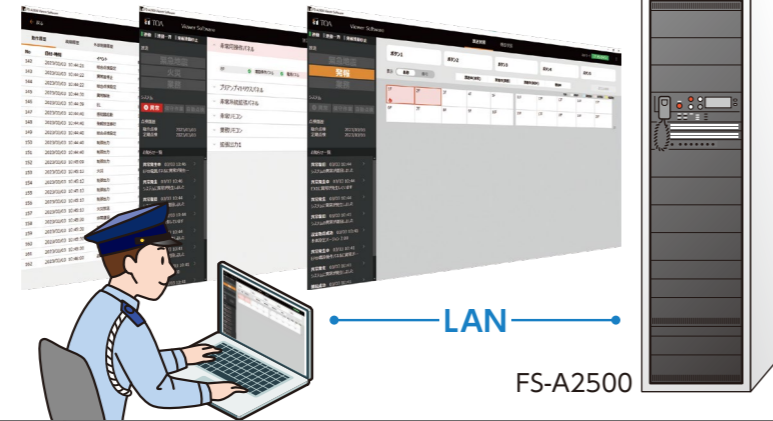
※FS-2500シリーズには接続できません。



運用支援ソフトウェア (Viewer Software)

本ソフトウェアをPCにインストールし、FS-A2500システムとLAN接続することで、放送状態や機器状態などを把握できる無償のソフトウェアです。本ソフトウェアをご利用いただくことで、視認性や一覧性が向上し、放送状態および機器状態を把握しやすくなり、管理運営業務の負担軽減につながります。

(表示画面)



Viewer Softwareで確認可能な項目

- システム状態
- 放送状態
- 機器状態
- 点検履歴
- 動作履歴



FS-A2500 シリーズ特設サイト

これまでの非常用放送設備との違いをアニメーション動画で紹介。運用支援ソフトウェアの詳細についても、こちらをご覧ください。

<https://www.toa.co.jp/products/ss/fs-a2500s/>



安全に関するご注意

- ご使用前に「安全上のご注意」および「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。●製品は本来の用途以外には使用しないでください。
- 取付・接続に電気工事等が必要な場合は、お買い上げの販売店または専門業者にご相談ください。●製品を天井等に取り付ける際は、十分に耐えられる強度のある場所に取り付けてください。

●日本国内専用機のため、海外ではご使用になれませんのでご注意ください。●製品の色は印刷のため実物とは多少異なる場合があります。●犯罪抑止や事故防止等を意図して設計・製造しておりますが、本システム単独で、犯罪の防止や安全を保障するものではありません。万一、事件・事故等による被害・損害が生じた場合でも、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。●製品価格には、設置調整費用、電気工事費用、使用済み商品の引取り費用等は含まれておりません。●改良のため予告なく仕様・価格等を変更する場合があります。

保守点検のお願い ●長く安心してご利用いただくため、定期的な保守点検をお勧めします。●非常放送設備は消防法により所定の保守点検が義務付けられています。●保守点検については、お買い上げの販売店へご相談ください。

商品価格・在庫・修理に関するお問い合わせ

札幌 (011)633-5535	多摩 (042)523-8405	大阪ガスター (06)6260-1525	インフラ営業部
青森 (017)723-3751	東京 (03)5621-5761	埼玉 (06)6260-1521	東京 (03)5621-5791
仙台 (022)256-8100	東京ガスター (03)5621-5782	京都 (075)212-4100	大阪 (06)6260-1528
盛岡 (019)636-4231	群馬 (03)5621-5765	神戸 (078)303-5625	スマートビジュアル営業部
郡山 (024)923-7744	滋賀 (03)5621-5790	高松 (087)826-5501	東日本ユニット
新潟 (025)246-2316	横浜 (045)444-3422	岡山 (086)803-2226	東京第1 (03)5621-5801
長野 (026)234-2231	静岡 (054)251-5350	広島 (082)291-3988	東京第2 (03)5621-5801
水戸 (029)231-9811	金沢 (076)244-1951	福岡 (092)431-0061	西日本ユニット
宇都宮 (028)633-9661	岐阜 (058)265-5656	熊本 (096)352-0883	名古屋 (052)509-7852
さいたま (048)614-8860	名古屋 (052)509-7851	鹿児島 (099)256-5245	大阪 (06)6260-1535
千葉 (043)382-6511	大阪 (06)6260-1526	那覇 (098)866-5598	

技術的なお問い合わせ

お客様相談センター 固定電話 ☎️ 0120-108-117  
 受付 9:00~17:00 携帯 ☎️ 0570-064-475 (有料) IP電話はご利用いただけません  
 (土日、祝日除く) F A X ☎️ 0570-017-108 (有料)  
 個人情報の取扱方針は、弊社ホームページをご覧ください。(https://www.toa.co.jp/privacy.htm)

業務用カタログ 製品の価格はすべて希望小売価格であり、消費税は含まれておりません。



ラック型非常用放送設備

FS-A2500シリーズ

より安全・確実な避難誘導を

超大規模防火対象物等にあわせ進化



日本消防検定協会認定評価品  
 認評放第2022~5号

※段階鳴動機能・多元非常放送機能を使用する場合は、事前に管轄の消防署の許可を得る必要があります。

# 超大規模防火対象物等に向けた安心を。



高層建築物や複雑な建築物が近年多く建設されており、  
消防機関や施主から以下のような対応を求められることはありませんか。

- ・複数の用途で使用する施設を1つの防火対象物として管理したい。
- ・パニック防止のため、ブロックごとの鳴動をもっと詳細に分けたい。
- ・A棟で火災が発生した時は、B棟は鳴動させず区分鳴動を行って欲しい。
- ・シネコンエリアは感知器発報放送では鳴動させず、全館一斉時のみとしたい。

従来の区分鳴動では、順次避難への対応は困難です。

FS-A2500シリーズでは、「段階鳴動機能」と「多元非常放送機能」により、  
在館者に対してより安全かつ確実な避難誘導を可能にします。

## 超大規模防火対象物等とは

「超大規模防火対象物」及び「大規模、高層の建築物が地下部分や駅施設等を介して複雑に接続された超大規模な建築物群」のことをいいます。また、「超大規模防火対象物」とは、自衛消防組織（火災や地震発生時の初期消火や消防機関への通報、応急救護等を円滑に行い、建築物の利用者の安全を確保するため、消防法第8条の2の5に基づき設置されるもの）の設置義務対象のうち、以下の全てに該当する防火対象物のことをいいます。

- (1) 不特定多数の者が利用する特定防火対象物（競技場、商業施設、ホテル等）、駅舎、空港
- (2) 収容人員が10,000人以上
- (3) 高さが200m以上又は延べ面積が200,000㎡以上

◇消防庁ホームページ掲載資料参照

<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/2019/03/22/items/d85b36cce39d22c8c3c9ec8ba80653e8c4e70b52.pdf>

## 段階鳴動

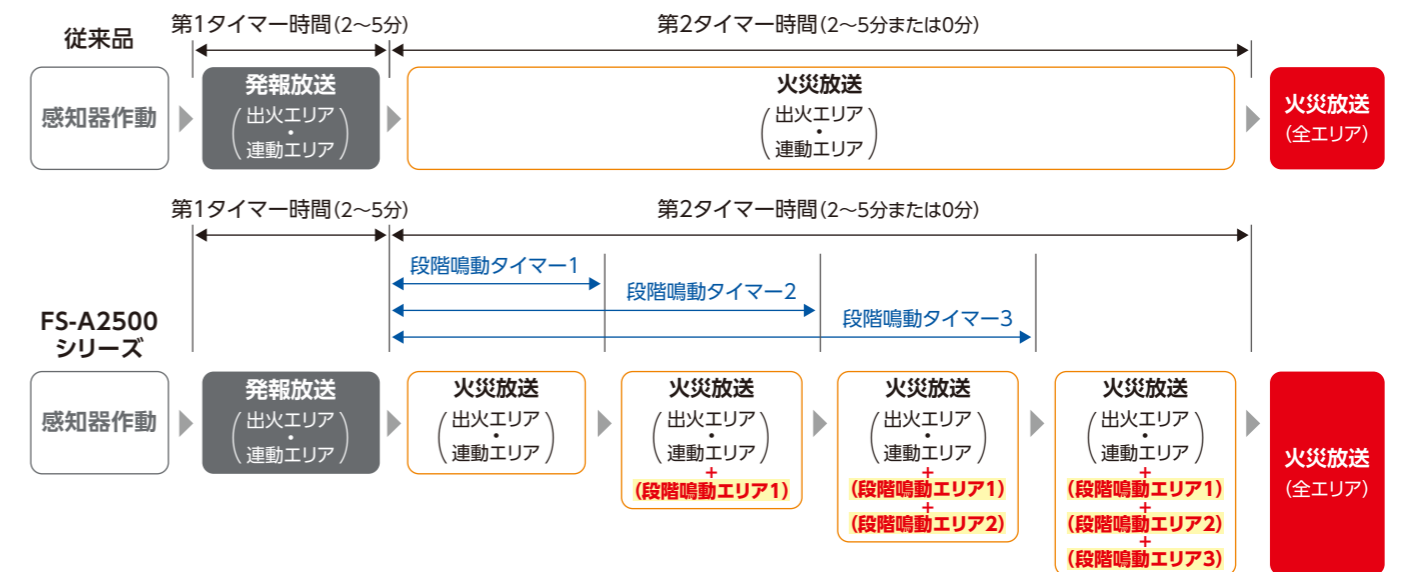
従来、物件ごとのカスタマイズにより「第3タイマー」等と呼ばれていた機能を、各種物件でご利用いただきやすいよう新機能として開発しました。

従来の出火階・連動階への区分鳴動に加え、火災放送の鳴動範囲を複数階やエリアからなるブロック単位で段階的に拡大させることができます。

高層ビルや複合商業施設では、防火区画の区分け等によるブロック単位で火災放送を行うことで、危険度の高いエリアから順に避難誘導を行うことができます。

### ●最大3段階まで設定可能

火災放送移行後から全館一斉鳴動までの間に、鳴動エリアをブロック単位で自動的に追加するためのタイマーが設定可能です。



### ●最大102系統の非常断24V出力制御

非常断24V出力1系統ごとに出力設定ができ、段階鳴動による鳴動エリアとの連動が可能です。

また、消防関連機器（光警報装置）など外部システムの制御を行い、避難計画に合わせたシステム構築も可能です。

## 多元非常放送

従来品では出火階の情報を報せていましたが、本機では避難経路情報などを含んだ放送を行うことができます。

### ●最大105元放送可能

最大105エリアに対して同時に異なる避難メッセージを放送できるため、エリアごとに安全な経路の使用を促すことができます。

### ●特定エリアにマイク放送可能

音声警報メッセージの鳴動を止めずに特定エリアへのマイク放送が可能です。



## 区メッセージ

ブロック鳴動への対応に必要な「区メッセージ」の設定ができます。従来の「階メッセージ」だけでなく、より細かい「区メッセージ」を鳴動させることで、大規模建築物における火災発生場所の詳細を、避難者や自衛消防隊に報せ、より安全な避難やすばやい初期消火に繋がります。

※段階鳴動機能・多元非常放送機能を使用する場合は、事前に管轄の消防署の許可を得る必要があります。